

# メッセージ発信のためのデータ収集 学生動態調査結果

八大学工学系連合会

第3分科会

泉典洋、伊藤彰則（主査）、鈴木雄二、木内豪、藤居俊之、鈴木達也、尾上順、杉野目道紀、岸田潔、尾崎雅則、馬越大、中島邦彦、鵜林尚靖

# 学生の動態調査

- 2014年、2021年に実施
- 継続的な変化の調査、特に博士後期課程進学者の変化を調査する目的で、昨年度と同じ調査を行った
- 調査項目

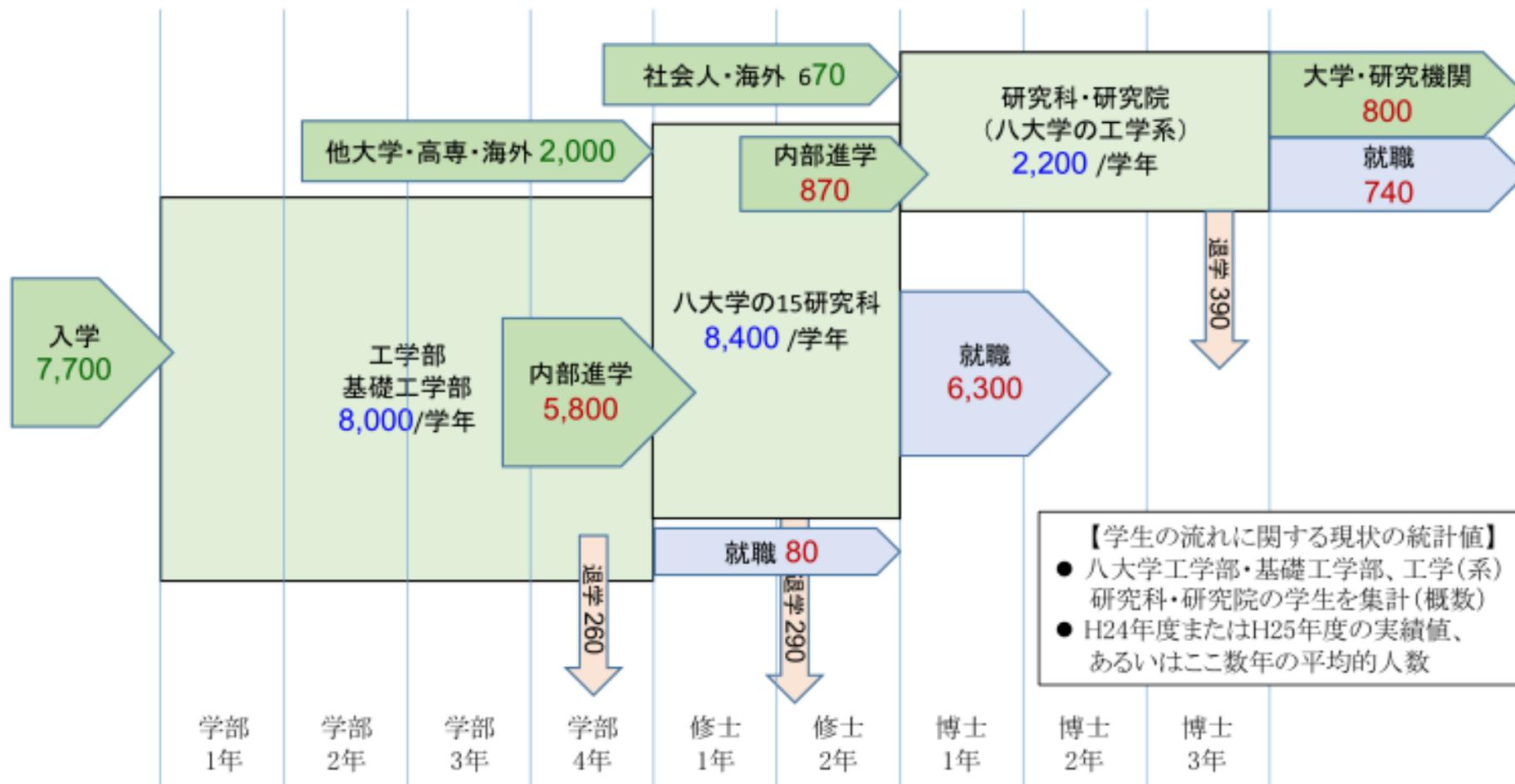
学部	博士前期	博士後期
入学者数（女子、留学生）	入学者数（女子、留学生）	入学者数（女子、留学生）
高専編入学者数 （女子、留学生）	学内進学者/学外入学者数 （女子、留学生）	学内進学者/学外入学者数 （女子、留学生）
退学者数	退学者数	退学者数
就職者数/進学者数	就職者数/進学者数	就職者数/その他
在籍者数	在籍者数	在籍者数

# 調査対象

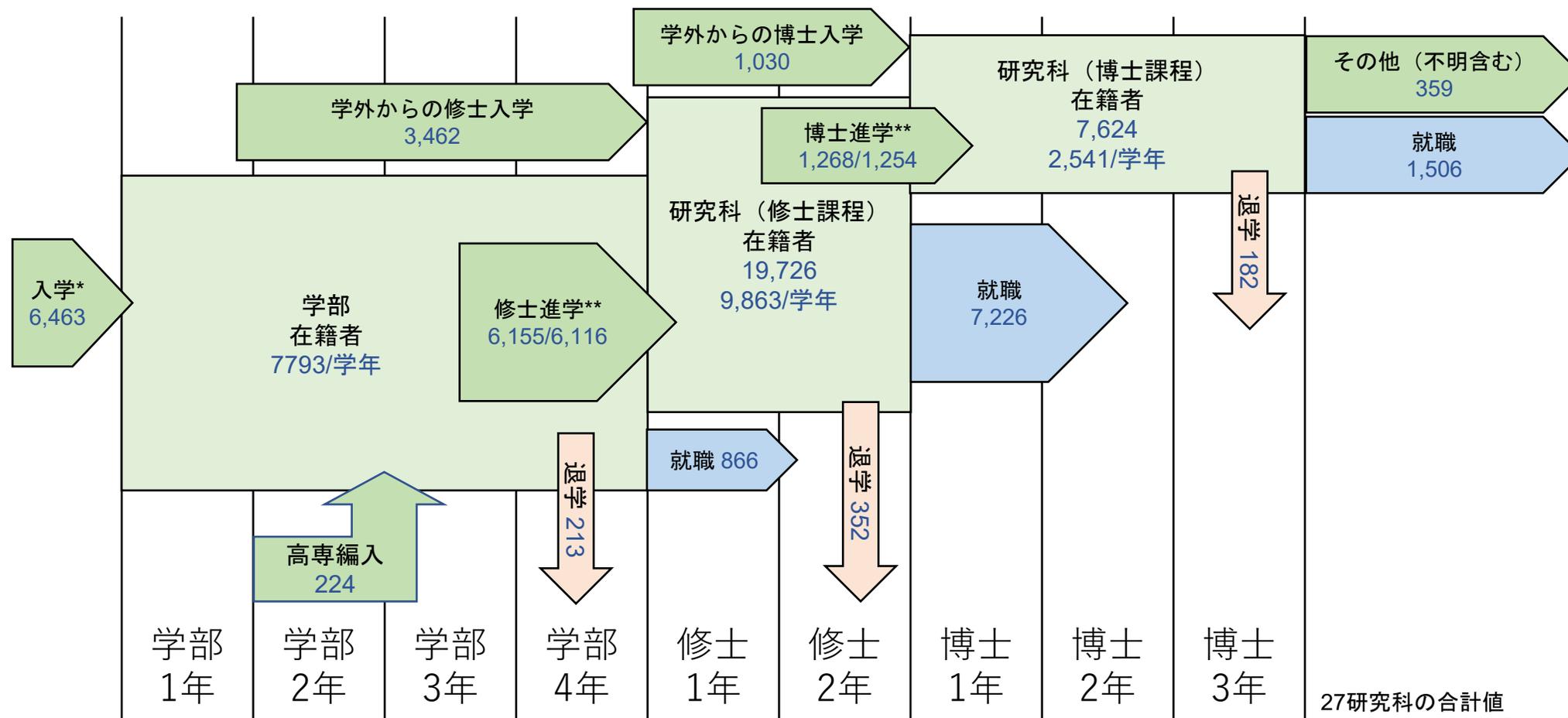
北海道大学	工学部	工学研究院、総合化学院、情報科学研究院
東北大学	工学部	工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科
東京大学	工学部	工学系研究科、情報理工学系研究科、新領域創生科学研究科
東京工業大学	工学院、生命理工学院、物質理工学院、情報理工学院、環境・社会理工学院（学士課程）	工学院、生命理工学院、物質理工学院、情報理工学院、環境・社会理工学院
名古屋大学	工学部	工学研究科、情報学研究科
京都大学	工学部	工学研究科、情報学研究科、エネルギー科学研究科
大阪大学	工学部 基礎工学部	工学研究科、基礎工学研究科、情報科学研究科
九州大学	工学部 芸術工学部	工学研究院、芸術工学研究院、システム情報科学研究科、総合理工学研究院

# 八大学11工学部26研究科における学生の流れの現状

- ① 工学部の約 8,000名/学年中、5800名(73%)は修士課程へ進学、他は就職や他大等へ。
- ② 留学生や他大学からの約2,000名を加えて、修士課程には約8,400名/学年が在学。
- ③ その大多数 6,300名(75%)が就職、870名(10%前後)が博士課程に内部進学。
- ④ 博士課程への入学者の内部/外部(含留学生)の比率は概ね50%である。



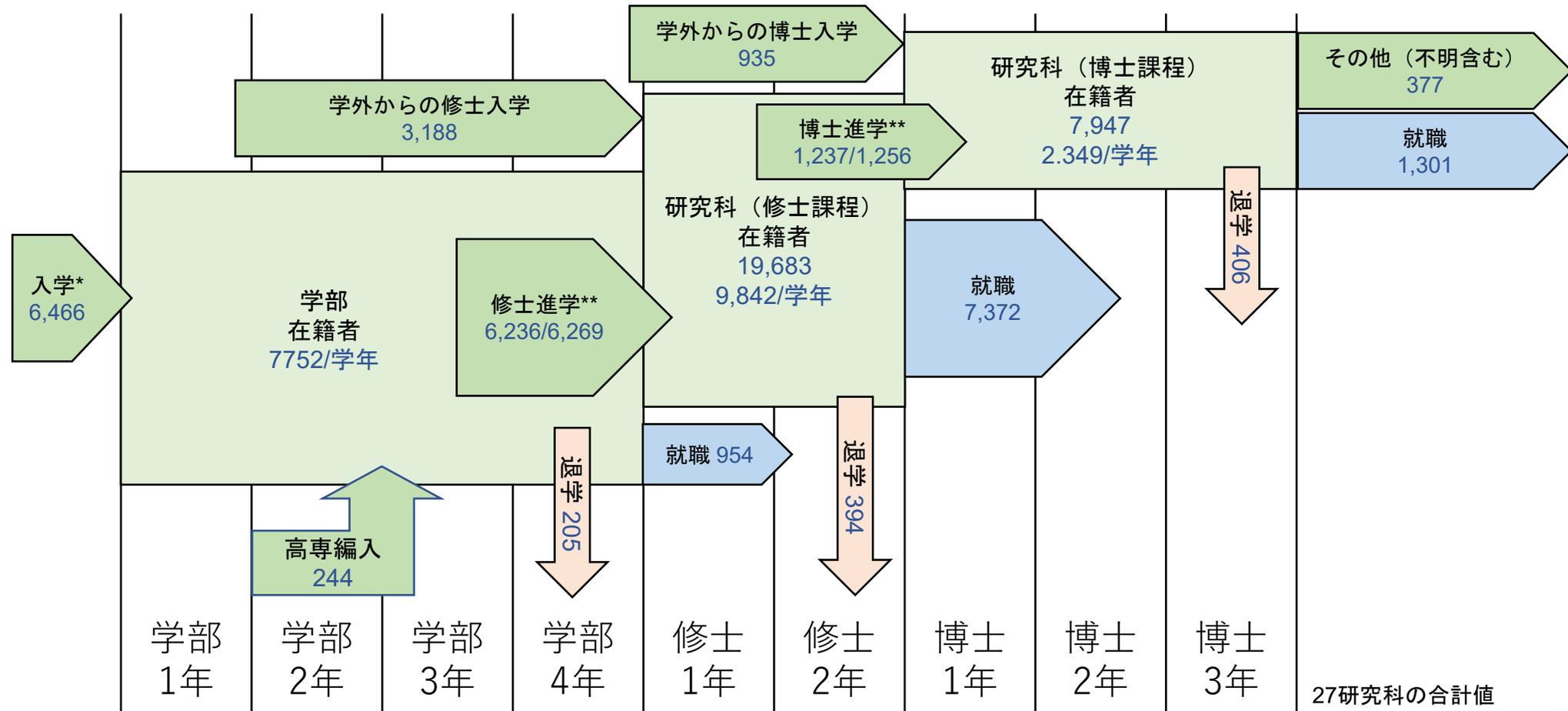
# 八大学工学系における学生の流れ(2021)



\*東京大学を除く（工学部への進学が入学後のため）  
 \*\*卒業者の内訳/入学者の内訳

27研究科の合計値  
 在籍者は2022年4月1日現在の各学年合計  
 入学修了退学就職等は2021年度の合計

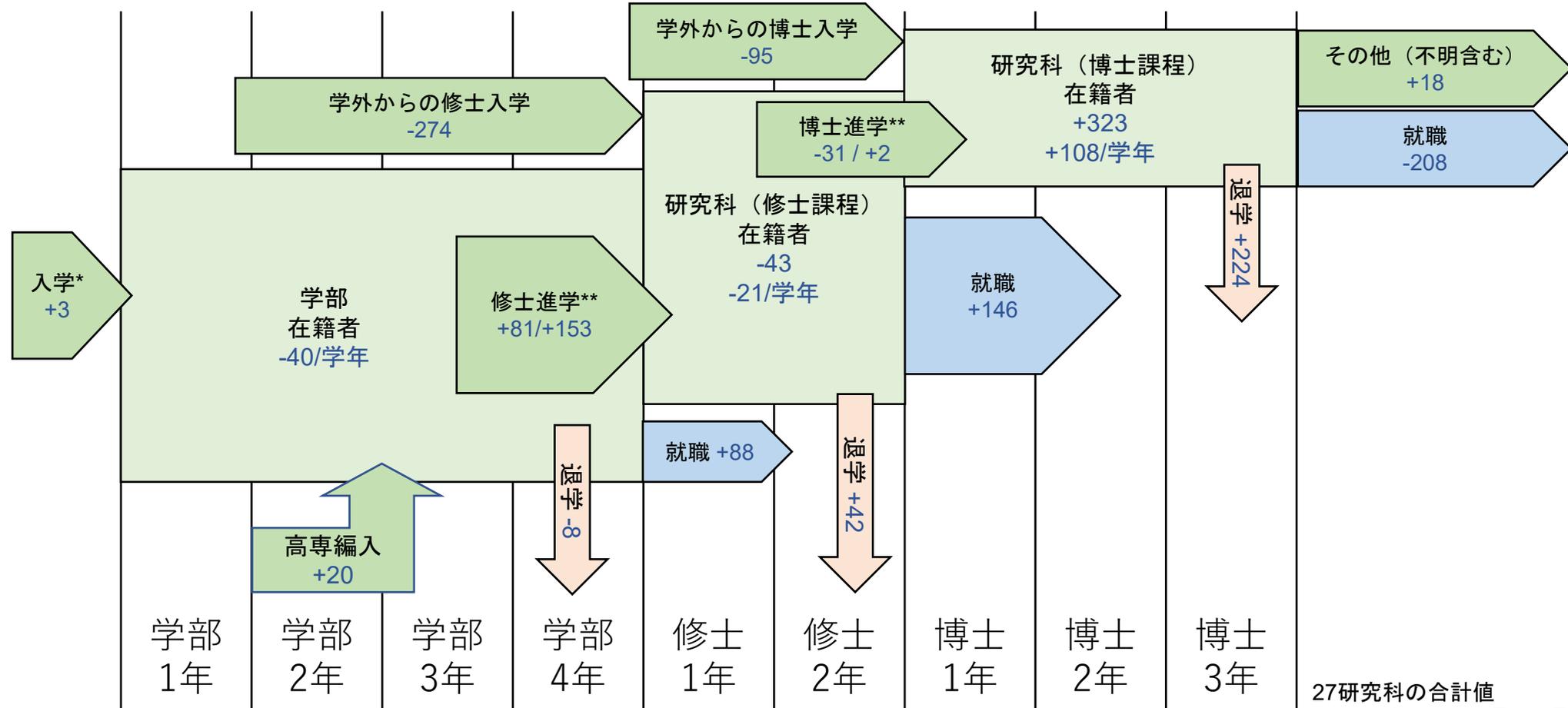
# 八大学工学系における学生の流れ(2022)



\*東京大学を除く（工学部への進学が入学後のため）  
 \*\*卒業者の内訳/入学者の内訳

27研究科の合計値  
 在籍者は2022年4月1日現在の各学年合計  
 入学修了退学就職等は2021年度の合計

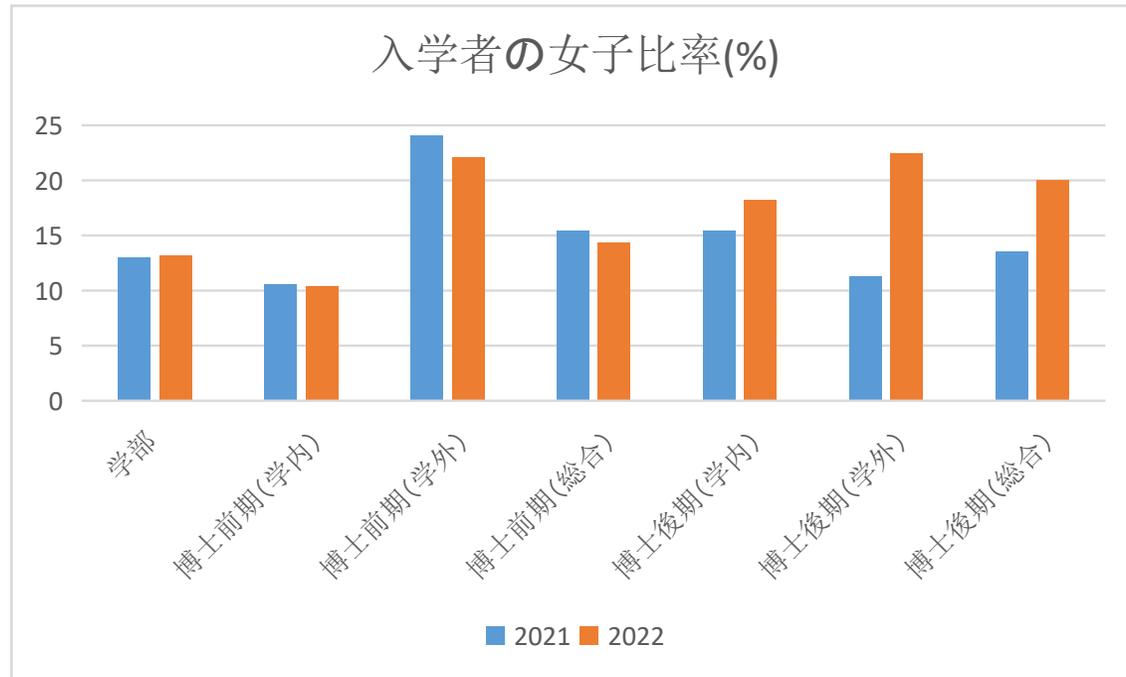
# 学生の流れの増減(2022-2021)



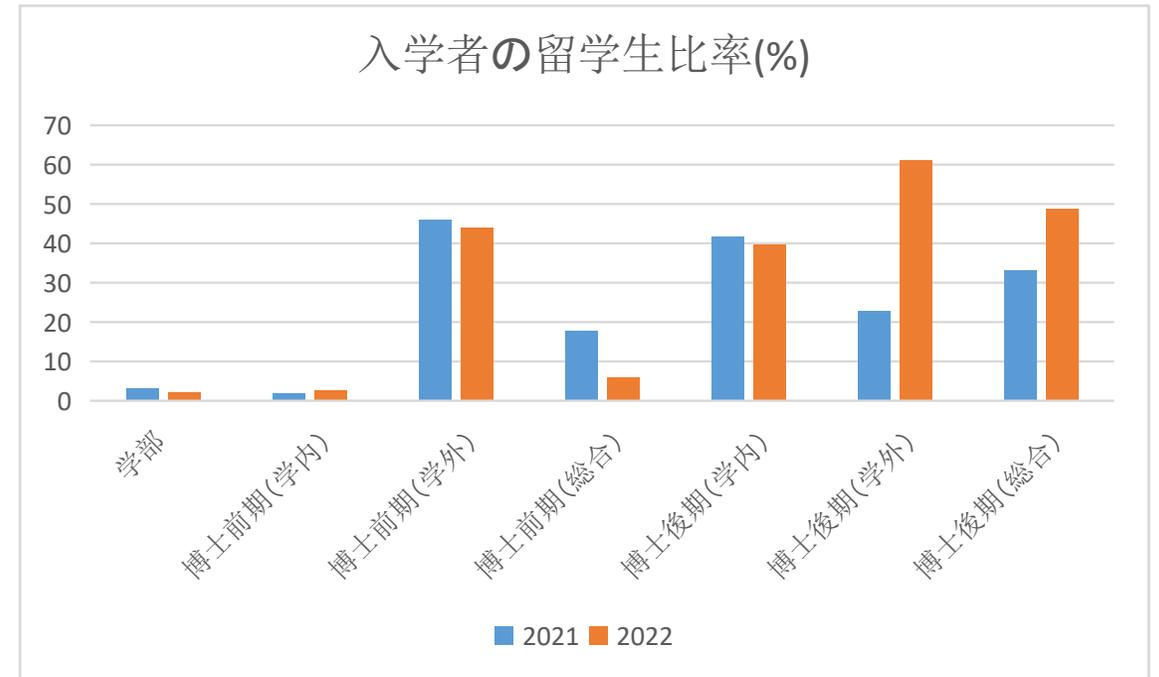
27研究科の合計値  
 在籍者は2022年4月1日現在の各学年合計  
 入学修了退学就職等は2021年度の合計

\*東京大学を除く  
 \*\*卒業者の内訳/入学者の内訳

# 入学者における 女子学生比率・留学生比率



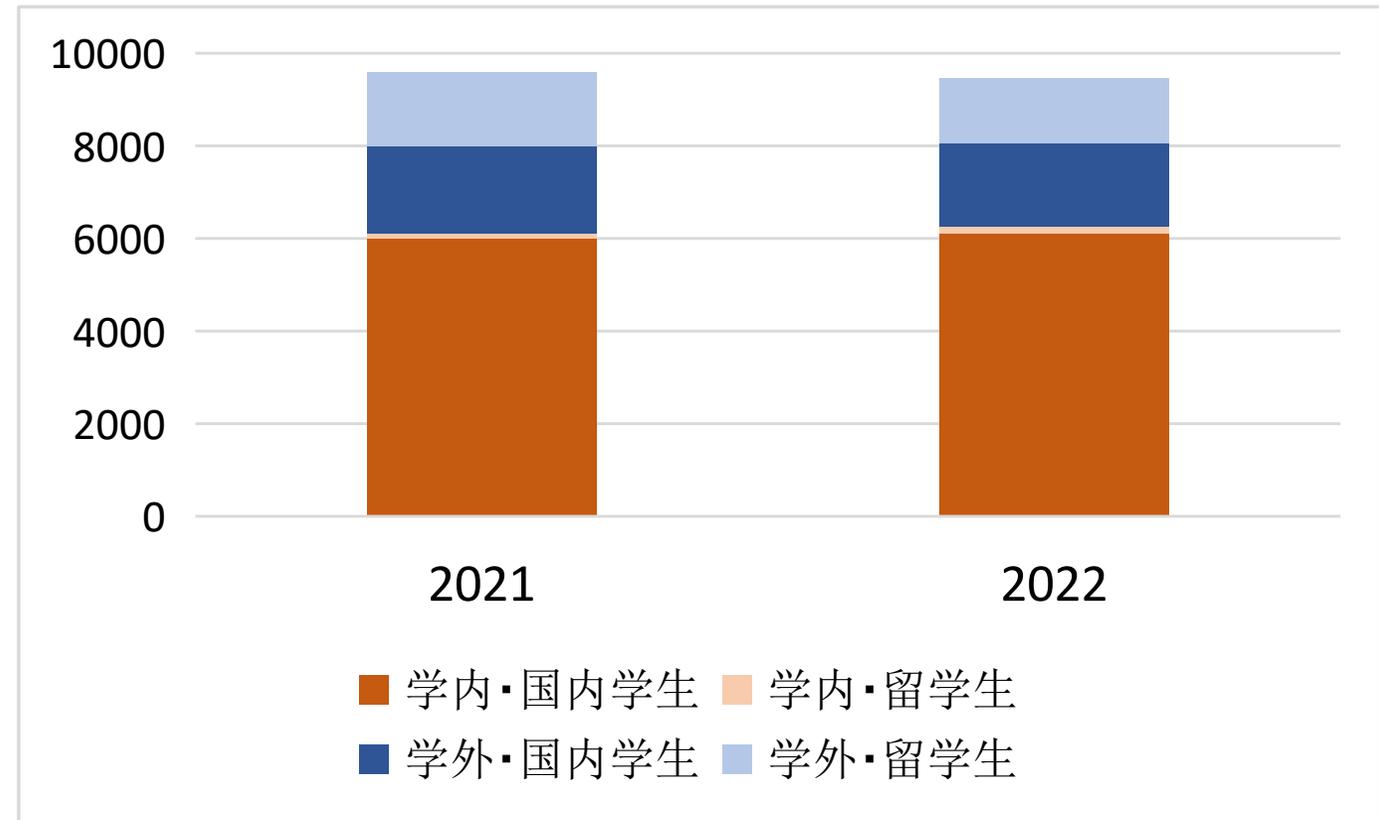
大きな変動はないが、博士後期課程の女子学生比率が伸びている。全体の入学者は減少しているが、女子の入学者は微増。



博士後期課程の留学生比率が伸びている。

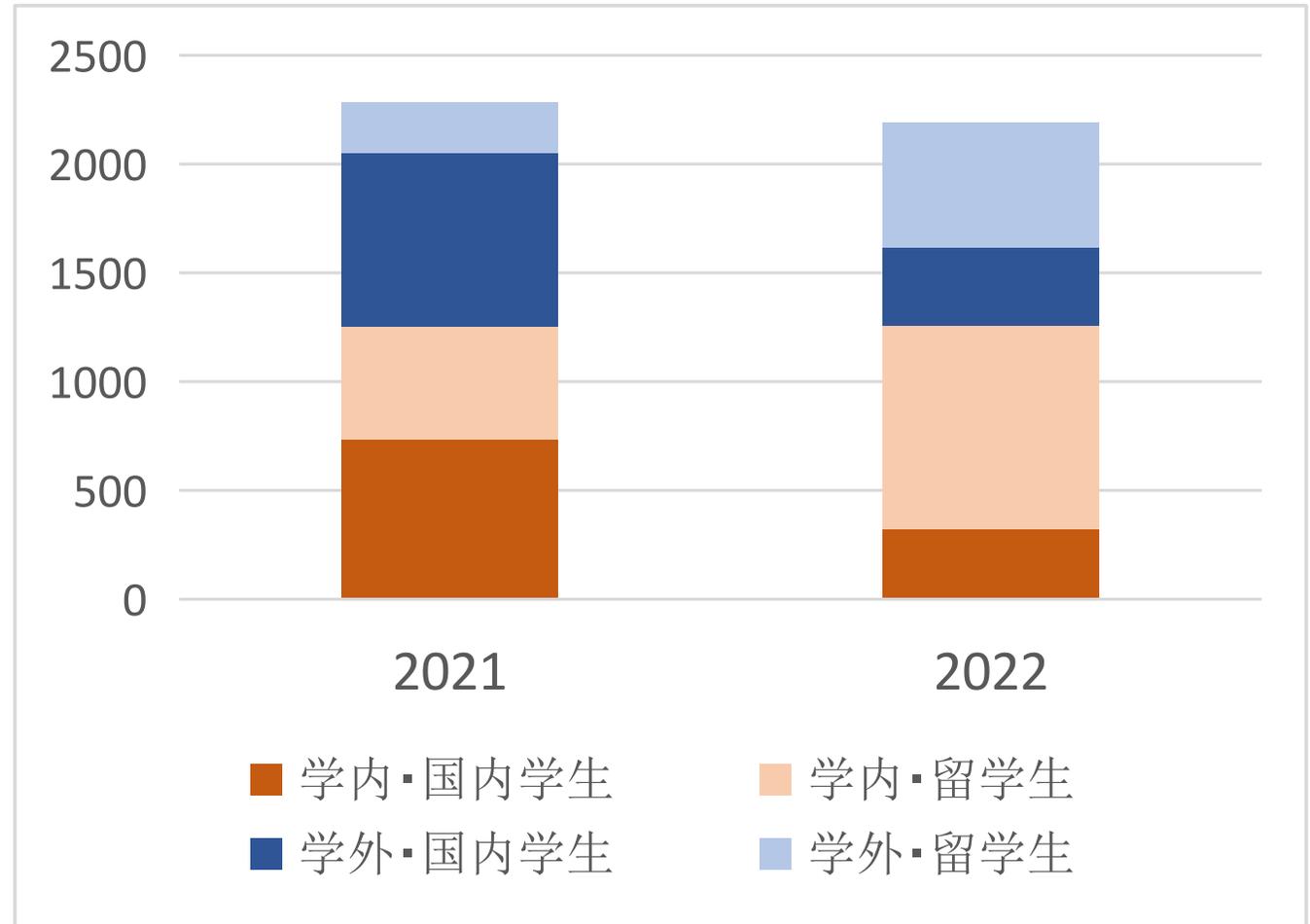
# 博士前期課程入学者における 国内学生・留学生数の変化

2022年は学内からの進学者が微増、学外からの入学者が国内学生・留学生とも微減



# 博士後期課程入学者における 国内学生・留学生数の変化

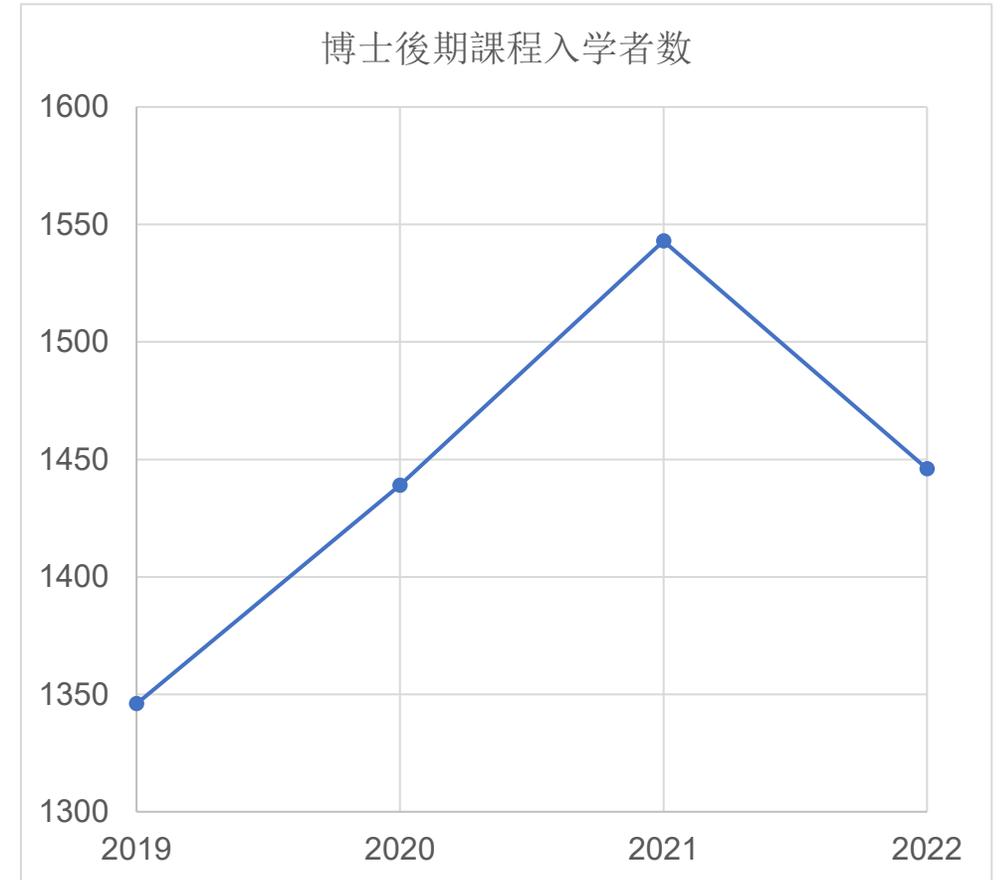
2022年は学内・学内とも留学生が増加して日本人学生が減少。全体としては微減  
国内の学生が減り、留学生の受け入れで補っている可能性がある



# 博士課程入学者は減っているのか？

## 八大学の博士課程入学者推移

- 各大学の公開情報から集計、一部10月入学を含まない
- 2019年から増加して2021年にピーク
- 研究科と年度を要因とした分散分析では、年度の要因も有意 ( $p=0.034$ )



# まとめ

- ・ 2021年度に続き、「学生の流れ調査」を行った
- ・ 年度ごとの比較のまとめ
  - ・ 修士進学は好調、在籍者は微減
  - ・ 博士進学は微減、在籍者は増加
    - ・ 留学生が増加、女子学生比率も増加
- ・ 博士課程入学者のトレンドが変化したかもしれない
  - ・ 博士学生支援の影響をもう少し観測する必要があるそう